



ALSO プロバイダーコース in 山形大学



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。プライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあります。1993年にAmerican Academy of Family Physicians (AAFP ー米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。

コースの教材は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで、筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれています。ALSO はLDR における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者－医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間です。レクチャーには妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性が含まれています。少人数グループによる重要ワークショップには肩甲難産、胎位・胎向異常、吸引分娩、分娩中の胎児監視、合併症妊娠の症例検討が含まれます。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は3年間有効の認証を受けることができます。

今回のプロバイダーコースは、山形県では4回目の開催です。少人数となりますが、今後とも開催を重ねていく予定ですので、ご了承いただきたく存じます。

ALSO-Japan

セミナー：ALSO プロバイダーコース in 山形大学

主催：山形大学医学部 産科婦人科学講座

共催：NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）

定員：10名（うち公募は数名）

受講資格：医師・助産師・看護師・研修医

会場：山形大学医学部 臨床研究棟 新講義室1階 CBT室、大学院演習室他

日時：令和4年8月27日（土）、8月28日（日）

※ 両日とも会場で対面での演習です。

※ 事前にe-learningによる講習・テストがあります。

参加費：30,000円

申込方法：下記①～⑪を記載の上、山形大学医学部産科婦人科；渡邊憲和 宛、e-mailにてお申込み下さい。（n-watanabe@med.id.yamagata-u.ac.jp）

※今回の受講は、山形県内の方に限らせて頂きます。

- | | | | |
|------|-------|----------------|-----------|
| ① 名前 | ②ふりがな | ③ローマ字表記 | ④所属病院 |
| ⑤診療科 | ⑥役職 | ⑦職種 | ⑧卒業年度（西暦） |
| ⑨現住所 | ⑩携帯番号 | ⑪メールアドレス（PCのみ） | |

申込締切：6月24日

※メールで個別にお返事いたしますが、6月中に返信が届かない場合には、山形大学医学部産科婦人科学講座(023-628-5393)までご連絡ください。

***携帯メールアドレスは受け付けられません。**

●新型コロナウイルスに関する対応について

開催中は、感染予防として換気・密集を避けるなどの対策を行います。感染予防を行いながら開催いたしますが、感染状況により、開催を中止・延期させて頂く場合があります。やむを得ず中止・延期となった場合には、振り込まれた受講料の一部または全部を返金できない場合があります。

アシスタントとしての参加も募集しています。よろしくお願ひします。

<お問い合わせ>

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部 産科婦人科学講座

渡邊 憲和 Tel. 023-628-5393/Fax 023-628-5396

e-mail: n-watanabe@med.id.yamagata-u.ac.jp